

IT・3D化の工程・技術情報管理セミナー

～ 3次元化に対応した工程管理、技術情報管理に向けて ～

2D図面から3D図面への設計・製造プロセスの変化に応じた工程管理のあるべき方向性を構築するためには、業務プロセス全体における3Dモデル・2D図面情報を効率よく活用するために基本となる製品番号や部品番号の体系的な管理、更には設計部品表・生産部品表をどの様に整理してゆくかが今後重要な課題となってきます。

今回は、基本的な考え方・進め方のポイントについて企業事例と演習を交えてご説明いたします。今後の3D化対応する技術情報構築に向けて、ご参考にしていただけましたら幸いです。お忙しいと存じますが是非この機会をご活用下さい。

日時 平成22年 2月24日(水) 10:00～16:30

場所 花巻市起業化支援センター

参加費 入場無料

定員 先着30名 (お申込み締切2月22日(月))

対象 製造業 実務者、技術者

入場無料

主催 北上川流域地域産業活性化協議会

(花巻市 花巻市技術振興協会 (株)北上オフィスプラザ)

問合せ 花巻市商工観光部商工労政課 工業労政係 TEL (0198) 24-2111 内線388/405
花巻市起業化支援センター TEL (0198) 26-5430

セミナー

<1>10:00-11:30 3次元化の製造プロセスにおける工程管理の今後
東北リコー 開発プロセス改革センター 黒瀬左千夫

休憩/昼食

<2>13:00-16:30 3次元図面化に対応した技術情報管理
東北リコー 開発プロセス改革センター 斎藤 文夫

お申込方法

次項の申込書に必要事項を記入のうえ FAX (0198-24-0259)送信下さい
又は所定事項を E-mail (shoukou@city.hanamaki.iwate.jp) でご連絡下さい。
(FAX送信)→ 花巻市役所 商工労政課 佐々木 行(FAX:0198-24-0259)

企業名	連絡先		
	参加者	職名	氏名
	住所	〒	
	Tel () -	Fax () -	
	E-mailアドレス:		

IT・3D化の工程・技術情報管理セミナー受講概要

～3次元化に対応した工程管理・情報技術管理に向けて～

<1>10:00-11:30

3次元化の製造プロセスにおける工程管理の今後

東北リコー株式会社 開発プロセス改革センター 黒瀬 左千夫 氏

3次元化は、製品Assyモデル、組立SubAssyモデル、部品単体モデルから、加工モデル、組み立てモデル、型、治具モデルと展開できます。

材料、重量、体積、表面積、重心の情報も保有し、又 加工図、アニメーション、分解図、を活用することで、ものをつくらず、管理すべき保証・検査項目情報が事前に検討生成することが出来、検討が図れ、工程管理情報が設定できることで、量産までの準備期間の短縮が図れる。

実際のものづくりの工程管理においては、電子マニュアル、新たな測定ツール等を活用することで、Q・C・D革新的向上が図れるようになります。これらのポイントをご紹介します。

※3D/ITものづくりになると、これまで以上に技術情報管理が重要になります。

<2>13:00-16:30

3次元図面化に対応した技術情報管理

東北リコー株式会社 技術管理センター技術情報G 齊藤 文夫 氏

製造業の中核技術情報である2次元図面（紙、CADデータ）、部品表（BOM）について、ITを活用した管理システム化のあり方、又、今後3次元図面への移行も考慮した技術情報管理システム構築に向けての意義、基本的考え方と必要性のポイントをご説明いたします。

長年実践してきた経験に基づき、事例を交えて、わかり易くご説明いたします。また、図面の部品番号や製品番号構成の体系的な分類や決め方についても、具体的な事例で進め方のポイントを解説し、受講者の方々に簡単なボールペンの商品を使って、部品番号体系と部品表を演習問題形式で作成して頂き、体験習得していただきます。